

# 注意事項

## 選択上の注意

- 歩行マークは製品の耐久性・耐摩耗性の目安を表しています。歩行頻度により適正な商品をご選択ください。
- 見本帳に掲載の生地は巾方向が横(長さ方向が上下)となります。
- 防ダニ・抗菌・防汚などの表示は、加工処理や特性の有無を示しています。日頃の正しいメンテナンスや定期的な換気等が最も重要で、これら無しには十分な効果が発揮されません。
- ウール使用のループカーペットに見られる異色の糸(ネップ)は、バーバー調と言われる自然な風合いを演出する伝統的な手法です。(ショーン、ウェリントンのカラーネップは、デザインとしてあえて入れています。)
- 印刷と商品の色は多少異なる場合があります。また生産ロットにより、製品にも若干の色差がありますので、ご了承ください。

## カーペットの構造特質によるご注意

- カットパイルは、使用中にパイルの方向性が部分的に異なってくる事があり、このことにより雲状の色むらのように見える事があります。これは雲現象やシェーディングと呼ばれ、カットタイプの性質であり、品質の欠陥ではありません。
- カーペット(特にタフテッドカーペット)は、柄(特に巾方向)に若干の蛇行が見られます。製法上の特性としてご理解いただき施工の際に違和感のない調整を行ってください。
- ウールやアクリルなどに代表される紡績糸を使用しているカーペットは遊び毛が出ますが、これは糸の特性であり品質上の欠陥ではありません。

## 保管上の注意

- 運搬途中では決して折らないでください。折れじわが残ったり、施工後の伸びの原因となる危険性があります。
- ロールカーペットは梱包を解かずに、平坦な場所に寝かせて保管してください。また上に物を積載したり俵積みをしてください。
- 水濡れは、変質、汚れ、たるみが生じ、品質が損なわれます。

## 施工上の注意

- 梱包紙に記載されている品名・色番・数量をご確認の上、施工を始めてください。同一床面上は、同ロットで仕上げてください。
- ジョイントの部分には、ほつれ防止の為、必ずほつれ防止用接着剤を入れてください。
- 下記の後染め商品をジョイントする際は、耳部どうして合わせてください。耳部と中間部分で継ぐと、色が違って見えます。  
(後染め商品)  
ミナモ/ミニヨン/シグマ/ナチュレ/ニューコスモ/ミールネオ/クリナ/ベルク/ヨイチ/トリニティ
- 天然繊維のウールは、紫外線や酸素に触れることにより、開封・敷き詰め後すぐに若干の色変化が見られます。ジョイントされる場合、同一床面は同一日に仕上げ、数日にわたる場合はジョイント部分に覆いをかける等、対策を講じてください。
- 床暖房施工の際、稀に繊維特有の臭いが発生する事がございます。臭気には個人差がございましたので承知おきください。

## 使用上の注意

- カーペットにたるみ、めくれ、ジョイントのほつれなどが生じた場合は即座に補修してください。放置しておくと美観を損なうほか、転倒事故を招く危険性があります。特に階段部分でのたるみなどは、大きな事故につながりますのでご注意ください。
- 長時間直射日光が当たる場所では、パイルが変褪色する危険性があります。カーテン・ブラインドなどで日除けをしてください。
- タフテッドカーペットに使用している合成ゴム(ラテックス)は、臭いが発生する事がありますが人体には影響ありません。通常数日間十分な換気を行うことで解消されます。
- 巻き縮みや巻き癖により1%以内の寸法誤差が生じている場合がありますが、ほとんどの場合、時間の経過と共に解消します。
- 敷き詰めカーペットの上にラグなどのカーペットを重ね敷きすることは避けて下さい。歩行などで上のカーペットが動いたりシワが発生する場合があります。転倒の原因となることがあります。
- フローリングなど滑りやすい床面にラグなどを置き敷きで使用する場合、別売りの滑り止めシートをお薦めします。(詳細は見本帳P.53をご覧ください。)

## 管理上の注意

カーペットは適切な管理計画により、長く、美しく使用することが可能です。業務用スペースでは、下記をご参考の上、使用スペースに適した管理計画の作成をお薦めします。

カーペットの汚れは、一般的に約90%が靴底から、残りの約10%は空気中の浮遊塵によるものです。また、汚れの性質を乾性と油性とに分けると、約85%は乾性であり、残りの約15%が油性であるといわれています。

- 靴底からの汚れの侵入を防止するために、フロアの出入口に防塵マットを設置してください。
- 建物全体のカーペットを常に一定の美観に保つために、汚染地域を選定して、汚染程度別に管理計画を実施してください。

## 汚染地域区別例

汚染程度	場所	選定基準
重汚染	エントランス・宴会場等	外部からの土砂の持ち込み、油性の汚れが発生しやすい
中汚染	廊下・客室等	主要な部分で人の歩行・スポットの汚れ等が頻繁に発生
軽汚染	会議室等	使用頻度は少ないが汚れに注意が必要な場所

## 管理計画例

予防管理	日常管理	週間管理	月間管理	年間管理
出入口等に マットを設置	粗ゴミ収集・除塵 染み取り作業・ 吸塵作業	全面吸塵作業	スポット クリーニング	全面 クリーニング

\*汚染程度別に管理サイクルを調整してください。

例：中汚染の場合、スポットクリーニングを年間管理とする。

\*ウールやアクリルに代表される紡績糸使いのカーペットには、回転ブラシ付き掃除機は使用しないでください。  
\*過度のクリーニングは素材を傷める可能性もあります。定期管理を確実に行って、クリーニングの周期を伸ばしてください。

\*特定の機器を使用するクリーニングは専門業者へご相談ください。

\*タフテッドカーペットの場合、パイルの接着にラテックスを使用していますが、このラテックスは各種の有機溶剤に溶かされやすい性質があります。したがって有機溶剤を使用するドライクリーニングでタフテッドカーペットをクリーニングすると、接着剤が溶出する危険やパイルの固定がゆるんでカーペットの形状に影響を及ぼすことがあります。

## 見本帳について

- 施工例の写真は印刷のため実際の商品と異なって見える場合もございますのでご了承ください。
- 掲載商品の価格及び仕様は、見本帳発行時(2021年1月)のものです。経済の変動、品質の改善により、やむを得ず価格及び仕様を変更させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 商品の色が、見本帳の品質見本と多少異なる場合がありますのでお含みください。

### 見本帳の廃棄に関するお願い

不要となった見本帳につきましては、しかるべき資格を有する産業廃棄物処理業者に直接廃棄を委託して頂きますようお願い申し上げます。

**見本帳掲載価格には消費税は含まれておりません。価格は、全てメーカー希望小売価格です。**

発行日：2021年1月 発行所：シンコールインテリア株式会社